

キックベース競技要綱

【日時】

2024年 5月18日(土)

5月19日(日)

雨天時について

当日もしくは前日が雨天であった場合は試合を中止または会場を変更する場合がある。

【会場】

野球場、多目的グラウンド

【部門】

一般部門

〈登録制限〉

・特になし。

※同一種目内において1人が複数のチームに所属することは禁止とする。

【試合形式】

以下のいずれかの形式で行う。

トーナメント形式

- ・準々決勝までは試合規定回数を5イニングとし、試合規定時間を35分とする。5イニング終了時点で同点の場合は延長戦をタイブレークで行う。但し、試合規定回数に達しない場合でも、試合規定時間を過ぎると思われる場合は審判の判断により新しいイニングには入らないものとする。それでも決着がつかない場合は代表者によるジャンケンで勝敗を決める。
- ・準決勝以降は試合規定回数を7イニングとし、試合規定時間を50分とする。7イニング終了時点で同点の場合は延長戦をタイブレークで行う。但し、試合規定回数に達しない場合でも、試合規定時間を過ぎると思われる場合は審判の判断により新しいイニングには入らないものとする。それでも決着がつかない場合は代表者によるジャンケンで勝敗を決める。

※タイブレークとは

イニングの最初から2アウト満塁で始めること。

・コールドはなし。

リーグ形式

- ・試合規定回数を7イニングとし、試合規定時間を45分とする。(但し、試合規定回数に達しないうちに試合規定時間を過ぎると思われる場合は審判の判断により新しいイニングには入らないものとする。)

第48代スポーツ・デー学生委員会

- ・勝利チームに3点、同点の場合は両チームに1点の勝ち点を与え、勝ち点の多い順に順位を決める。勝ち点と同じ場合は当該チーム間の勝敗で順位を決める。それでも決まらない場合は代表者によるジャンケンで順位を決める。
- ・コールドはなし。

【ルール】

- ・原則として、公認野球規則に準ずる。
- ・試合規定人数は1チーム6人。(交代要員は6人まで登録可。)
- ・試合開始最低人数は1チーム5人。
- ・試合開始時に試合規定人数に満たない場合はペナルティを課す。
- ・試合開始時間から5分を超えた時点で試合開始最低人数を満たさない場合、当該チームを不戦敗とする。
- ・交代は自由だが、打順は守らなければならない。(一度交代して外に出てもまた出場できる。)
- ・男子の人数は試合開始時より増やしてはならない。
- ・申告敬遠を適用する。

※申告敬遠とは

守備側のチームが敬遠の意思を申告すると、投手が投球せずに打者は四球となる。

コート

- ・三角ベースを使用する。
- ・三角形のホームベースを用い、その横幅をストライクゾーンとする。
- ・ホームベースを中心とする半径7mの弧をバントラインとし、半径12mの弧を守備ラインとする。
- ・本塁と一塁間の距離は21.5mとする。
- ・一塁においてダブルベースを使用する。
- ・一塁と二塁を結んだ直線を内野ラインとする。
- ・ワンベースラインを採用する。(詳しくは「走者」欄を参照。)
- ・コートの広さは無制限とする。(但し、ワンベースラインは例外とする。)

投手

- ・投球はホームベースから12mの距離にある規定の位置から行う。
- ・意図的なノーバウンドまたはバウンドボール、速球と審判が判断した場合はボールとする。

打者

- ・打撃は全て足で行う。
- ・2ストライク後のファウルはアウトとする。

第48代スポーツ・デー学生委員会

- ・バントラインを越えない打球はファールとする。但し、そのラインを越える前に守備がボールに触れた場合はその打球はフェアとする。
- ・自打球に触れた場合はファウルとする。
- ・打撃時に軸足がホームベースラインより完全に前に出ている場合はファールとする。
- ・振り逃げは適用しない。

走者

- ・打者がボールを打つまでベースを離れてはならない。
 - ・ベースから離れてボールに当たった場合はアウトとする。但し、一塁を走り抜けた場合と頭部に当たった場合を除くが、明らかに故意に当たった場合はアウトとする。
 - ・タッチアップルールを適用する。
 - ※タッチアップとは
- 打者がフライまたはライナーを打ち、野手がノーバウンドで捕球した際、走者は一度帰塁しなければ次の塁に進めない。
- ・各コートにワンベースラインを引き、悪送球による進塁は、それを越えた場合はワンベースまでとし、それ以外はインプレーとする。
 - ・スライディングは禁止とする。

守備

- ・捕手の配置は任意とする。捕手を配置しない場合は投球時の捕球とその返球のみ主審が行う。
 - ・捕手は、打者がボールを打つまでホームベースラインより守備側に出ることは禁止とする。
 - ・内野の守備位置については、それが明らかに打者の打撃を阻害するものであると審判が判断し移動を指示した場合には、選手はその指示に従わなければならない。
 - ・インフィールドフライのルールは、満塁時にのみ(2アウトを除く)適用する。
 - ※インフィールドフライとは
- 打者が打ち上げたフェアの飛球であって、審判が「内野手が普通の守備行為を行えば捕球できる」と判断した場合、内野手が捕球できていなくても打者がアウトとなる。
- ・キックによる送球は可。

ハンディキャップ

- ・対戦する2チーム間で出場する女子の人数に差がある場合は女子が多い方のチームに(女子の人数差×2)点を与える。(上限は6点とする。但し、ペナルティを含まない。)
 - ・女子が打席に入ったときは、次のようにする。
- 本塁と一塁との距離は12mとし、その地点に置かれた女子用ベースを基準として扱う。その場合も本来の一塁ベースをファールの基準とする。一塁以外のベースについての変更はしない。

第48代スポーツ・デー学生委員会

- ・女子用ベースでセーフとなった場合は試合が止まった時点で本来の一塁ベースに移動する。直接二塁を狙う場合は女子用ベースから最短距離で進むことができる。投手・捕手以外の守備は女子が打つまで内野ラインよりホームベース側に出ることは禁止とする。

ペナルティ

- ・試合開始後に、出場人数を増やすことはできない。
- ・相手チームに3点加算する。

【審判】

スポーツ・デー学生委員会

【注意事項】

- ・選手本人が登録されていないチームで参加することは禁止とする。
- ・不正出場があったチームは失格とする。
- ・試合では、スポーツ・デー学生委員会の用意したボール以外の使用は禁止とする。
- ・遅刻者は審判に申し出た上で、交代でのみ出場可。
- ・スパイクシューズの着用は禁止とする。
- ・会場内の食事、喫煙は禁止とする。
- ・審判の指示に従わなかった場合は何らかの措置をとることがある。